

令和7年度 事務事業評価表 (令和6年度実績)

事務事業名		秘書事務管理費			担当所属	秘書課		
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	～ 永年			
	基本施策	3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進		会計種別				
	推進施策	1 計画的な施策の推進		実施計画	総合戦略			
事業概要	対象	市長、副市長						
	意図	・市長・副市長が効率的に職務を遂行できる環境を確保する。・各部局間の連携と調整等を行い、政策の意思決定の迅速化を図る。						
	成果	・市政運営の効率化、円滑化を図り、もって行政サービスの充実を図ることで、間接的に市民福祉の向上に寄与する。・市政運営に関し総合的な調整を行い、政策決定の迅速化、円滑化を図り、施策を着実に推進する。						
	手段	・市長、副市長に関する秘書業務 ・政策推進に係る総合調整						
指標	活動指標	指標名		単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込
		指標なし		目標値				
				実績値				-
				目標達成度	%	-	-	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算	
	トータルコスト		46,087	47,669	48,366	49,876	51,746	
	事業費		3,469	4,433	4,746	4,858	6,728	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,469	4,433	4,746	4,858	6,728	
	人件費合計		42,618	43,236	43,620	45,018	45,018	
正職員		42,618	43,236	43,620	45,018	45,018		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	現状の周辺環境							
	今後の予想される周辺環境							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与(税金支出)		A	市政運営の効率化、円滑化を図り、もって行政サービスの充実を図ることで、市民福祉の向上に寄与する。			
		2. 事務事業の目的(対象・意図)		A				
		3. 事務事業の目標(活動指標等)		C				
	有効性	4. 計画の実施状況		A	定量的な評価を行うことは難しいが、定性的な評価として市長、副市長の日程を適正に管理することが出来た。また、庁内の総合調整を行い、政策決定の迅速化、円滑化を図ることができた。			
		5. 目標(活動指標等)の達成度		A				
		6. 上位施策への貢献度		A				
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A				
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	情報共有を図り、効率的なスケジュール管理に努める。			
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A				
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	・市長、副市長の日程を適正に管理すること等により、円滑に職務に専念できる環境を整えることが必要である。・庁内の総合調整を行い、政策決定の迅速化、円滑化を図ることが必要である。						
改革案	今後の実施方向性	維持	適切な秘書業務の実施により、円滑な公務の遂行に努める。					
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果(どのような効果が期待できるか)							
適切に秘書業務を実施し、また、庁内の総合調整を行うことにより、市長・副市長の業務遂行を効率化し、政策決定の迅速化を図ることができる。								